

新宿中学校新校舎検討委員会だより

去る 7 月 28 日午後 2 時から新宿中学校で、第 1 回新宿中学校・新校舎検討委員会を開催しました。委員長の挨拶に続き、営繕課長から新校舎建設の概要と「配置計画案」4 案を説明しました。主な意見としては、**体育館の位置は近隣への騒音の影響が小さい北側配置がよい、普通教室の日当たりがよい配置がよい、第二グラウンドにも建物を建てるとか、校舎をなるべく北側に寄せるなどグラウンドを広く取った案がよい、等**がありました。このような意見を勘案した結果、案 2 と案 4 を基本として教室配置などの平面計画を検討していくことになりました。

ゾーニング比較検討案 概要

建設地等	計画必須条件
建設地 新宿区新宿六丁目 15 番 22 号 (旧大久保中学校跡地) 敷地面積 約 11,870 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・建物延べ面積約 8600 m²、階層数は 5 層程度 (現在の校舎は約 5200 m²) ・高低差を考慮した設計 ・学校エリア、開放エリアの動線を考慮した配置計画 ・消防団用倉庫 (36 m²) の敷地を確保
配置計画案	配置に関わる共通コンセプト
案 1「既存地形を生かした配置」	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯・安全に配慮し、死角が無く、管理のしやすい校舎配置 ・近隣(東側、北側民家等)へ日影の配慮 ・北側道路の拡幅整備 ・シンボルツリーであるケヤキの地形を確保 ・北側及び西側よりの出入口を設置 ・雨水及び落葉対策
案 2「建物を中央に集約し、 屋内運動場を北側に配置」	
案 3「建物を中央に集約し、 屋内運動場を東側に配置」	
案 4「建物を中央に集約し、 第 1 グラウンドを広く使う配置」	
	設計にあたって
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の地形を生かした配置計画を考えたが、高低差があり、また校舎面積が 1.6 倍になるため、中央部の丘を削って、校舎等を集約した配置計画にならざるを得なくなった。校地の緑については、移植をする等可能な限り保存していきたい。 ・第二グラウンドに校舎の一部を建てる場合、近隣住民の方々のご理解が条件となる。

主な発言内容

- ・体育館の位置は、周りに民家が比較的少なく騒音の影響が小さいため、北側がよい。
- ・生徒が一番長く過ごす普通教室については日当たりのよい南面配置がよい。
- ・第二グラウンドに建物を建てたり、校舎をなるべく北側に寄せたりしてグラウンドを広く取ってほしい。
- ・中央部の丘を削らないようにしてほしいと考えていたのだが、現在より 6 割増しの校舎を建てるにはやむを得ないと思う。
- ・学校運営上や被災時便利なため、校庭と体育館が近い案がよい。
- ・学校が一番校舎の使い勝手を知っているので、学校の意見をよく聞いて決めるのがよいと思う。
- ・体育館の上にプールを乗せる場合、震災時も安全な建物をつくってほしい。
- ・校舎西側近隣への高低差による降雨時の水の被害を、なるべく緩和してほしい。
- ・体育館に車が横付けできるようにしてほしい。
- ・プールを屋上につくる場合、落葉や紫外線の問題があるので屋根を付けてほしい。

<委員会メンバー>

新宿中 PTA 会長 (副委員長)
新宿中 校長・副校長
大久保中・東戸山中 PTA 役員 役員継承者、 同窓会代表 町会長等
富久小 PTA 会長
余丁町小 PTA 会長
東戸山小 PTA 会長
大久保小 PTA 会長
天神小 PTA 会長
戸山小 PTA 会長
教育委員会事務局次長 (委員長) (17名)

【連絡先】 新宿区教育委員会 教育環境整備課 〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1 - 4 - 1
TEL 5273-3107 FAX 5273-3510 E-mail kyoikukankyo@city.shinjuku.tokyo.jp
関連する学校の保護者の方々へは夏休み後の配布となります。ご了承ください。